

知的書評合戦 ビブリオバトルIN 塩山③

令和5年6月4日(日) 17:15~開催報告

第31回大会

テーマ: 『〇〇の時読む本』

『機械仕掛けの太陽』

知念 実希人/著, 文藝春秋

*コロナ禍の経験を思い出したいときに読む本

現役医師だからこそかけたコロナ禍の医療現場の物語。コロナ病棟の指揮をとることになった医師、看護師、高齢の町医者3人の医療従事者たちの葛藤や日常生活を描いた作品。



表紙の太陽のコロナを紹介しながら熱く物語を語ってくれました。



『医者個人の生活366日』

米山 公啓/著, 集英社

*ほっとしたいときに読む本

山梨県出身のお医者様の書かれた本とのこと。お医者さんの日常生活あるあるエピソード?が月ごとに語られて



いるお話。2冊目もお医者さんのお話でした。「伝えたいこと、紹介したいことがたくさんあります。」と言わんばかりのマシンガン紹介でした。

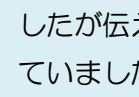
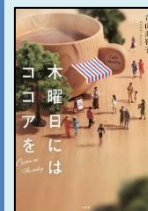
『木曜日にはココアを』

青山 美智子/著, 宝島社

*気分を変えたいときに読む本

「マーブルカフェ」小さな喫茶店を舞台上に繰り広げられる1杯のココアから始まる短編連作小説。

娘さんに触発されての初参加のお父



さま。とても緊張していましたが伝えたい思いは観戦者に伝わっていました。本を読む時は時間を決めてカフェで読むそうです。素敵な時間ですね。



『始まりの木』

夏川 草介/著, 小学館

*旅に出たい時に読む本



民俗学を専攻している学生と指導教官との日本各地をフィールドワークで飛び回るお話。実際にある場所を訪れながら教授は学生に語ります…。

こちらもお医者さん小説家のお話でした。「旅の準備をしたまえ」本を読みながら教授の声が聞こえてくるかもと



『レペゼン母』

宇野 碧/著, 講談社

*勇気をもらいたいときに読む本

レペゼンとはヒップホップ用語で「代表する、象徴する」という意味。女で一つで育てた息子とひょんなこと



からラップバトルをすることに!軽快にリズムよく流れるように本を紹介してくれました。この本に出合ったのは勝沼図書館の家族をテーマにした展示コーナーだったとのこと。



《塩山図書館で展示しています。展示棚にない場合は予約ができます。》

★第31回大会のチャンプ本★

『レペゼン母』 《参加者のみなさんの感想》 宇野 碧／著，講談社

- 母と息子とのラップバトルシーンがおもしろそうですね！ 多数
- 親子の対決がどうだったのか気になります。
- 子育ての参考になりそうですね。
- ラップバトルの内容が気になります。
- ラップがどんなふうにも小説で表現されているか見てみたいです。
- タイトルから手に取るような本ではないと思います。ラップバトルの内容が気になります。
- 母親(64歳)がラップバトルするというギャップがおもしろそうです。



★参加者のみなさんよりイベントの感想★

- どの本も面白そうでしたし、何より発表者さんたちに対するの興味がすごくわきました。本と人どちらも楽しめた回でした。ありがとうございました。
- 様々な本を知るきっかけになり良かったです。
- 5名のバトラーさんそれぞれとても聞きごたえがあり選書も面白くて投票に悩みました。楽しかったです。
- バトラーも多く面白かった。似たテーマがなく様々な内容の本がそろっていてチャンプ本意外にも読みたい本が見つかった。
- 楽しく観戦できました。皆さんのおすすめを聞いて嬉しかった。 多数…
- 日頃読まないジャンル、手に取らないような本が紹介されていて良かった。

《第32回大会のご案内》

★テーマ「なく 無く、泣く、鳴く、啼く…」(発表者募集中！塩山図書館まで)

▲令和5年9月24日(日)

午後5時25分から 塩山図書館 閲覧席にて

▲観覧者→当日時間までにお集まりください。▽当日の閲覧席利用は16:45までです